

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

I 当法人の現況に関する事業

1 事業の経過およびその実績 (単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業 (注)	124,486	113,008	90.78%
学術研究等助成事業	22,274	23,407	105.09%
資料館庭園運営管理事業	34,519	42,706	123.72%

(注) 育英奨学事業には貸与奨学金(予算:55,950千円 決算:49,950千円)を含んでいる。

2 直前事業年度の財産および状況 (単位:千円)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (当該事業年度)
経常収益	179,498	169,597	155,485
評価損益等調整前 当期経常増減額	11,756	14,924	△9,475
当期経常増減額	△13,869	△243,923	251,563
正味財産期末残高	4,349,165	4,089,530	4,558,121

3 主な事業内容

事業	主要な事業の内容
育英奨学事業	奨学金の無利子貸与および給付 奨学生集会の開催
学術研究等助成事業	自然科学の研究に対する助成 自然環境保護活動に対する助成
資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営 庭園・山林・遊歩道の整備
不動産賃貸事業	共同住宅の管理運営

4 従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	港区新橋 5-6-4-701	首都圏の大学等への当会事業の周知 収益事業である共同住宅の管理

5 収益事業に関する事項

共同住宅名称	所在地	建物内容	管理会社
コーポ順	東京都世田谷区	鉄筋 4 階建 771.03 m ²	(株)日立不動産

※平成 28 年 12 月 22 日 当該不動産(土地・建物)を売却

6 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約期間 契約金額	契約の概要
平成 24 年 4 月 1 日	EY 税理士法人	1 年間 (毎年更新) 1,200,000 円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

7 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務
事務局長	山崎 壽浩	平成 7.6.5	事務局総轄
管理部長	原 久晴	平成 17.4.1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	荒井 能弘	平成 22.9.1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2.4.1	東京事務所の事務・資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13.2.20	建物内管理・事務所庶務

8 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28. 5. 27	平成 27 年度事業報告・計算書類等承認について	承認
〃	第 5 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	平成 28 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	平成 28 年度学術研究助成について	可決
〃	平成 28 年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	「奨学金規程」の制定について	可決
平成 28. 8. 24	収益事業における共同住宅の売却について	可決
平成 29. 3. 24	平成 28 年度学術研究助成事業について	承認
〃	平成 29 年度事業計画の承認について	可決
〃	平成 29 年度予算の承認について	可決
〃	「建物建設積立資金規程」について	承認
〃	「就業規則」の改定について	承認

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28. 6. 23	平成 27 年度の事業報告の内容報告について	了承
〃	評議員選定委員会の評議員選任結果について	了承
〃	平成 27 年度計算書類等の承認について	承認
〃	理事 1 名補欠選任について	可決

(3) 評議員選定委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 28. 4. 20	次期評議員の選任について	可決

9 株式を保有している場合の概要

企業名	保有株式数	保有割合	入手経過	企業との関係
JXホールディングス	3,656,190 株	0.10%	寄付受入	取引なし
北越メタル	55,600 株	1.39%	寄付受入	取引なし

II 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	
常務理事	山崎 壽浩	2年	〃	〃	事務局長
理事	森地 茂	2年	非常勤	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	
〃	一色 誠一	2年	〃	〃	
〃	田波 耕治	2年	〃	〃	

(2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
監事	高橋 實	2年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	2年	〃	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	佐藤 浩治	4年	〃	〃	
〃	林 久	4年	〃	〃	
〃	岩野 宏	4年	〃	〃	
〃	大田 勝幸	4年	〃	〃	
〃	北原 傳	4年	〃	〃	
〃	広田 忠俊	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	20,889千円	
監事	2	144	
評議員	9	133	
選考委員	11	222	
合計	28	21,388	

事業報告の附属明細書

I 事業に関する記載事項

1 育英奨学事業について

(1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計	奨学金貸与額	奨学金返還免除額
大学院生	8名	7名	15名	7,850千円	1,400千円
大学生	59	20	79	46,350	8,700
高専生	1	0	1	600	150
留学生	6	7	13	5,700	300
合 計	74	34	108	60,500	10,550

(2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者	返還額
大学院生	26名	4,402千円
大学生	161	42,361
短大生	3	1,068
高専生	3	428
高校生	7	524
留学生	45	9,540
合 計	245	58,323

(3) 奨学生集会

奨学生の研修指導の目的で8月24日～25日（1泊2日）に開催した。

講師による講演会、環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業、コミュニケーションを通して自分の良さを発見するワークショップ等を実施した。

宿舎では奨学生による懇談会を行った。

カリキュラムは次のとおりである。

参加学生 60名

実施内容

1 日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	開会～理事長挨拶、参加役員の紹介、奨学生の自己紹介
	講演会 演題「外食産業の夜明け、30兆円への成長、発展をもたらしたもの」 大河原 毅 氏（株式会社ジェーシー・コムサ代表取締役 CEO）
	バイオリン演奏会 高雄 敦子 さん
	郷土資料館・庭園の見学
	奨学生の懇談会
2 日目	【環境保護活動への理解】
	山林保全作業（植林地の下草刈り、間伐作業の体験）
	ワークショップ 「自分を知る、自分を好きになる、キラリと輝く自分をみつけよう！」
	閉会～JR 長岡駅へ移動～解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額のうち、2ヵ月分の返還を免除した。

(4) その他

機関誌「山びこ」49号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

2 学術研究等助成事業について

(1) 研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 14,860,000 円の助成金を交付した。

- ① 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授 ^{セツト}SET ^ジSZE ^{イヨン}YUN
研究題目 新しい短パルスレーザー発振方式の研究
- ② 東京大学 医科学研究所 遺伝子・細胞治療センター 助教 横山 和明
研究題目 特発性血球減少症の前方視的解析
- ③ 東京大学 生産技術研究所 特任助教 吉武 舞
研究題目 建築学における他地域との関係から定義する地域性の概念の導入

- ④ 新潟大学 医学部総合医学教育センター 准教授 澁谷 雅子
研究題目 自閉スペクトラム症のリスク変異の確定：罹患同胞対8家系エクソーム解析のフォローアップ研究
- ⑤ 群馬大学 大学院理工学府 准教授 高橋 俊樹
研究題目 D-D核融合反応を利用したホウ素中性子捕獲療法用小型中性子源の開発
- ⑥ 山形大学 大学院医学系研究科 助教 本間 拓二郎
研究題目 肝ストレス環境下での細胞内グルタチオン供給経路とその保護効果の解明
- ⑦ 新潟大学 工学部機能材料工学科 助教 落合 秋人
研究題目 米糠タンパク質加水分解物からの多機能ペプチドの探索
- ⑧ 新潟大学 工学部 教授 佐々木 重信
研究題目 エネルギーハーベスティング無線伝送システムにおける数理モデルの構築
- ⑨ 新潟大学 工学部機能材料工学科 教授 谷口 正之 (H23・24年度助成)
研究題目 食品タンパク質由来ペプチドの抗菌・抗炎症作用の解析とそれらのメカニズムの解明
- ⑩ 長岡技術科学大学 原子力システム安全工学専攻 准教授 菊池 崇志
研究題目 隕石衝突模擬実験のための光学系を用いた速度計測システムの開発
- ⑪ 長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 教授 山崎 誠
研究題目 フォトルミネッセンス法による多元化合物薄膜太陽電池の欠陥評価
- ⑫ 長岡工業高等専門学校 物質工学科 教授 鈴木 秋弘
研究題目 光化学ガン治療のための新規腫瘍集積性生体色素の開発
- ⑬ 東北大学 大学院理学研究科 助教 坂巻 竜也
研究題目 地球深部炭素循環の時間進化：初期地球深部におけるマグマへの炭素の溶解度と炭素同位体分別の解明
- ⑭ 東北大学 加齢医学研究所 教授 田中 耕三
研究題目 がん細胞における染色体不安定性の分子基盤の解明

- ⑮ 秋田大学 大学院理工学研究科 助教 後藤 育壮
研究題目 電線接続用の純銅製部品の最適凝固制御による高電気伝導性と高信頼性の両立を通じた送電網の高効率化

- ⑯ 信州大学 学術研究院（農学系） 助教 鈴木 俊介
研究題目 ヒト特異的レトロトランスポゾン SVAF1 による小頭症責任遺伝子の発現調節機構の解析

- ⑰ 信州大学 繊維学部 助教 根岸 淳
研究題目 年齢の異なる動物組織を使用した脱細胞化生体組織の特性と機能評価

- ⑱ 富山大学 大学院理工学研究部 准教授 山崎 裕治
研究題目 廃校になった小学校校舎を利用した希少生物保護活動の展開

- ⑲ 新潟明訓高等学校 生物部 教諭 間島 啓太
研究題目 高校生と実施するカワリヌマエビ属の外来種の調査活動

(2) 自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、総額 4,300,500 円の助成金を交付した。

- ① 東京大学大学院理学研究科附属植物園 担当者 出野 貴仁
活動名 関東地域の絶滅危惧植物保全のための基礎調査と生息域外保全の実施

- ② 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 担当者 中村 吉則
活動名 オスが子育てする絶滅危惧種トゲソで繋がる児童から企業までの保全活動

- ③ 長岡野鳥の会 担当者 古川 英夫
活動名 ①2016 バードウィーク特別展「この鳥を守ろうー長岡の希少鳥類と天然記念物の鳥たちー」の開催
②探鳥会・野鳥集会等における野鳥解説機器の整備

- ④ 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団 担当者 吉田 隆
活動名 わたしの学校にもサイエンス・サーカスがやってきた（中山間地の小規模校や離島の子ども達と高齢者を対象とした出前型環境教育・科学技術理解促進活動）

- ⑤ 佐渡島加茂湖水系再生研究所 担当者 藤井 英樹
活動名 葦船づくりで広げる加茂湖再生の輪
- ⑥ ブナ友の会 担当者 阿部 幸雄
活動名 「もっと知りたい！五頭山（いつつむりやま）」－観察会と写真会＋お話－事業
- ⑦ 森林インストラクターと市民有志 担当者 松田 英也
活動名 自然観察林・瞑想の池水路堰設置工事
- ⑧ 特定非営利活動法人 ウッディ阿賀の会 担当者 袖山 要一
活動名 海岸保安林保全育成活動
- ⑨ 新潟渡り鳥の会 担当者 向井 喜果
活動名 次世代シーケンサを用いた福島潟で越冬するオオヒシクイの食性
- ⑩ ECO village SHELTER project 担当者 鈴木 梢
活動名 里山における子どもたちのための環境教育空間の造成と体験活動「木こりの学校」

(3) その他助成、支援事業

学術研究等助成事業の「その他助成・支援事業」として2,600,000円を交付した。

- ① 公益財団法人日本ナショナルトラスト 1,000,000円
- ② 公益社団法人女子プロ将棋協会 1,000,000円
- ③ 公益財団法人日本ユースリーダー協会 600,000円

(4) 自然環境保護活動報告会の開催

10月に「自然環境保護活動報告会」を開催し、平成27年度に助成金を交付した10団体のうち8団体が参加して、活動の成果について報告を行った。

3 資料館庭園運営管理事業について

- (1) 資料館「農機具館」をリニューアルのため大規模改修工事を行い、名称を「雪国暮らし館」に変更して展示品をテーマや季節ごとに分類してわかりやすいように配置した。
資料館見学者は2,012名であった。
- (2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら植物や野鳥を観察する「遊歩道散策・植物観察会」と「野鳥観察会」を4回開催した。植物については地元植物同好会の協力者が、野鳥については長岡野鳥の会のスタッフが案内や説明を行った。
合計89名の参加があった。
- (3) 公道脇に当会への道順を示す案内看板を設置し、訪問者の利便性をはかった。